

『信』

令和3年3月11日(木)

3年間お疲れ様。心と感動をありがとう。明日は『最幸の卒業式』に。

最終号です。今まで読んでくれてありがとうございます。人生にはたくさんの分岐点があります。最初の分岐点が、瓜破西中学校を卒業することだと思います。たまたま同じ地域、同じ学校、同じ学年になった46期生。明日それぞれの夢に向かって旅立ちます。

これまでこの便りに多くの言葉を書いてきましたが、最後に伝えたいことは『奇跡』です。みんなと過ごす最後の1年、4月から絶好調のスタートを切るために、2020年の1月に、12月31日までの全ての予定を考えました。修学旅行、運動会、文化祭、そして卒業式。それぞれに目的や達成に向けて、どの時期にどう行動すべきか、ありとあらゆる計画を立てました。

そんな中突然の休校、新年度初日も先生方とだけのスタートで、そこから2ヶ月会えない日々が続きました。正直何のためにやっているのかわからない、どこにもぶつけられない悔しさや辛さを味わいました。学校再開後も毎日の健康観察、マスク着用や手洗い、夏休みの短縮や7時間授業、学校行事など様々な活動の制限・・・今までに経験したことのない時間が続きました。

今思えばあっという間でしたが、今日まで46期生のみんなは、誰一人不満を言うことなく、ただただ真面目に、愚直にやれることをやり続けてくれました。そのお陰で、最後の1年を今日まで無事に、楽しく充実した時間を過ごせることができました。『奇跡は起きるものではなく、起こすもの』この1年一緒に過ごして、本当にそう思います。みんなの日頃の真面目・本気・一生懸命な姿が、明るく未来を照らし、今日まで導いてくれたと思います。

『最幸の卒業式』はイメージできていますか？この間、数値目標を出しました。家に帰って、ぜひ全員オール5を目指して、理想の自分をイメージしてください。2度と戻らない時間、せっかくならその時間を、今までの人生で『最も幸せな時間』にしてください。そして自分だけでなく、仲間や保護者の皆さん、先生方にとっても、「この場所にいることができて良かった」という時間にしましょう。《あの日がゴールじゃなくて、スタートだったんだ》時を越えての歌詞にある通り、明日は新たな人生のスタートでもあります。ぜひ忘れられない時間にしてください。卒業おめでとう。そしてありがとう。みんなと一緒に過ごせて本当に良かったです。最大感謝！

夢